

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジョイナス東中野教室		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 20日		2025年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	67	(回答者数) 49
○従業者評価実施期間	2024年 12月 20日		2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状態に応じた個別での支援を主とした療育を実施しているところ	学年や発達段階に応じた支援をアセスメントに基づいて、ステップで行っています。また、お子様一人一人が苦手な事を克服できるよう支援しています。	更なる充実を図るためにも、お子様一人一人の発達状況を共有できるように、職員同士で密に連携をとっていただければと思います。また、継続してお子様の発達ニーズに応じた療育を提供してまいります。
2	多くの専門職(作業療法士、言語聴覚士等)が在籍しており、お子様に合った療育を提供できているところ	未就学児のお子様を抱える悩みとして最も多く挙げられる「発語」について、言語聴覚士がメインとなり対応しています。また、お箸の持ち方など、細かい作業等については作業療法士の指導の下、療育に当たっています。	職員間の連携を密にしていだけでなく、よりよいサービスを提供できるように、社内研修等も拡充していければと思います。また、個々のスキルアップの為、外部研修にも積極的に参加して参ります。
3	保護者様との連携を密にしているところ	日々の連絡帳でのお知らせ以外にも、療育後のご報告の時間や、メール、お電話にて情報を密に共有させていただいております。お子様の小さな変化も見逃さず、日々の療育に生かすことができています。	引き続き、保護者様との運家を密に取りながらサービスの提供をしてまいります。また、計画書更新月以外でも積極的に面談を実施し、保護者様と連携を深めていただければと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムや情報提供を行う機会が少ない	お子様のご様子についてお伝えする機会は療育後や面談など、積極的に行っていますが、全体に向けて発信する機会を多く設けることができていない点が、課題だと考えています。	ご家族で参加していただける運動イベント等を今年度は開催させていただき、ご家族で出来る運動メニューと一緒に実施させていただきました。来年度以降、このような取り組みを増やしていけるよう、社内で検討してまいります。
2	地域との交流が不足していると考えられる。	「保育所や幼稚園等との交流や地域の子どもと活動する機会」を活動として提供できていません。お子様方の多くが、近隣の保育所や幼稚園に通園されており、中には弊社に通所されている事を知られたくないと考えていらっしゃる為、実施が難しい側面があります。	保護者様の御希望をお伺いしながら、必要とされている方向に、交流の機会を設けることができないか、社内で検討を進めて参ります。
3	保護者同士の交流機会の少なさ	年長向け保護者会や参観を実施する等、交流の機会を設けられるような取り組みを、少しずつではありますが増やしています。しかしながら参観では、ご自身のお子様を見て頂く時間となっており、保護者同士が気軽に交流できる時間ではないのが課題だと考えています。	参観なしの交流会のみの保護者会を開催する等、交流をしていただけるな取り組みについて、社内で検討していければと思います。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援センタージョイナス東中野教室

公表日 2025年 3月 28日

利用児童数 34

回収数 26

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	0	0	5	・子どもが行かないようにさせてはいるが、職員さんがいるスペースが近い。	職員の作業スペースがお子様の活動スペースと重ならない様にさせて頂いておりますが、よりよい環境設定を目指してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	0	0	3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1	0	4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	0	0	2		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	3		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	1	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	0	0	2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	0	1	3		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	1	5	7	・参加していない。	地域交流を進めていけるよう、社内で検討して行ければと思います。また、ご協力いただける園等についても模索していければと思います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2	3	6		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	0	1	2	・いつも大変助けて頂いております。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	0	0	1	・いつもありがとうございます。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	5	16	・保護者同士の交流の機会があるといいなどと思います	新年長様向けの保護者会を実施や、家族支援を実施する等、少しずつではありませんが家族支援の充実に向けて取り組んでおります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	0	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	1	1	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1	0	4		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	0	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	0	0	5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	0	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	0	0	7	・経験がないのでわかりません。	今後とも、事故が発生しないように細心の注意を払うとともに、連絡等について周知徹底していけるよう、検討していきます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	2	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援センタージョイナス東中野教室				公表日	2025年 3月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	ベビーカーを職員が移動させるなどの対策を行っている。	出入口の所に段差がある。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	必要に応じて利用できるよう、スペースを確保している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎年設け、確認をしている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		第三者評価は現在行っていないが、社内で検討を進めている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	法人内でも月に2回、研修を行うなど力を入れている。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	作成し、公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員全体でケース会議を行い、適切な支援に向けての検討を随時行っている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3		職員全体で行う事を基本としているが、公休日などの関係で参加できない場合もある。情報共有を密に行い、更なるプログラムの質向上に向けて取り組んでいきたい。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	固定化しない様、同じ課題でも工夫を凝らして取り組んでいる。	同じ課題を繰り返し取り組むことで定着するお子様や、固定されたルーティーンの中で力を発揮できるお子様もいらっしゃるので、一概に固定化しないようにするのが良いとは思えない。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎朝、朝礼後に打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	療育後に振り返りと打ち合わせを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	記録をこまめにとり、療育後に職員間で共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	会議には、療育担当が参加し、積極的なインクルージョンに努めている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	協力医療機関をお願いする等、体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	相談支援事業所との連携や、事業所間連携を積極的に行い、インクルージョンの推進に努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	就学支援シートを記入や、学校関係者の方に見学に来てもらうなど、様々な取り組みを行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		通所していることを知られたくない親御様がいらっしゃる中で、地域交流を無理やり進めることは出来ない。保護者への連携を密に取りながら、実施に向けた取り組みを検討していきたい。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に、対面ですっきりと説明を行っている。		
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	計画書更新に伴う面談を実施し、保護者やお子様の意向を確認する場を設けている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	必要に応じて面談を行っている。また、通所時のフィードバック時に最近の様子について伺い、困りごとが無いかなどを確認している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	年長向けに保護者会を実施したり、参観の機会を設けている。また、親子で参加できるイベント等も実施している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	相談については迅速に対応している。また、お子様からの相談事を保護者にすぐ伝えるなど、連携をとりながら取り組んでいる。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	毎月、お便りを発行し普段の様子などを共有している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	漏洩防止を徹底している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		通所していることを知られたくない親御様がいらっしゃる中で、地域交流を無理やり進めることは出来ない。保護者への連携を密に取りながら、実施に向けた取り組みを検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約前に、しっかりと確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	アレルギーについて毎日確認を行い、誤食等が起きない様に努めている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援センタージョイナス東中野教室

公表日 2025年3月28日

利用児童数 33

回収数 23

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	4	1	2	・もっと広げればよいなど、何も知らず思っただけです。 ・明るく広いスペース、幼児用トイレなど、今後の改装の機会があれば改良すると良いかもしれない。	・よりよい環境設定となるよう、社内で検討してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	2	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	3	0	4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	2	0	2		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	0	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1	0	1	・子どもも喜ぶ支援内容でね保護者相談にも親身になって下さり、専門的で明確なので、非常に助かっています。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1	0	2		
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	10	7	・交流を望んでいません。	地域交流を進めていけるよう、社内で検討して行ければと思います。また、ご協力いただける園等についても模索していければと思います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	2	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	2	2	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	22	0	1	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1	0	0	・日々の報告が具体的で、家庭で何をすると良いか情報の提供もしてもらっている。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	0	・いつもの通常の支援にプラスアルファで盛り組んでくれるので本当に感謝しています!!	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	6	5	8	・交流を望んでいません。 ・家族への支援は十分だと感じる。	保護者の方にも参加していただけるイベント等を実施させていただいておりま す。交流を望まれない保護者様もいらっ しゃる中で、どのような形を取っていけ ばよいのか、社内で検討を進めて参りま	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	3	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	2	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	2	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	3	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	2	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	0	0	0	・大満足です!!	



公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援センタージョイナス東中野教室				公表日	2025年 3月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	ベビーカーを職員が移動させるなどの対策を行っている。	出入口の所に段差がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	必要に応じて利用できるよう、スペースを確保している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎年設け、確認をしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		第三者評価は現在行っていないが、社内で検討を進めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	法人内でも月に2回、研修を行うなど力を入れている。		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	作成し、公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員全体でケース会議を行い、適切な支援に向けての検討を随時行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3		職員全体で行う事を基本としているが、公休日などの関係で参加できない場合もある。情報共有を密に行い、更なるプログラムの質向上に向けて取り組んでいきたい。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	固定化しない様、同じ課題でも工夫を凝らし て取り組んでいる。	同じ課題を繰り返し取り組むことで定着するお子様や、 固定されたルーティーンの中で力を発揮できるお子様も いらっしゃるので、一概に固定化しないようにするのが 良いとは思えない。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課 後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	7	0	毎朝、朝礼後に打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	療育後に振り返りと打ち合わせを行って いる。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ なげているか。	7	0	記録をこまめにとり、療育後に職員間で共有 している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み 合わせて支援を行っているか。				
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。					
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	会議には、療育担当が参加し、積極的なイン クルージョンに努めている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教 育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	協力医療機関をお願いする等、体制を整えて いる。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻 の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適 切に行っているか。	7	0	相談支援事業所との連携や、事業所間連携を 積極的に行い、インクルージョンの推進に努 めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	児童発達支援から継続して、ご利用いただ いている方が多数の為、情報は共有出来てい る。	園とも必要に応じて連絡を取り、相互理解に努め ているが、断られるケースもあるので、より良い 情報共有の仕方を模索していきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している か。	7	0	就学支援シートを記入や、学校関係者の方に 見学に来てもらうなど、様々な取り組みを 行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する 機会があるか。	0	7		通所していることを知られたくない親御様がいらっし やる中で、地域交流を無理やり進めることは出来ない。保 護者への連携を密に取りながら、実施に向けた取り組み を検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課 題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ ム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会 や情報提供等を行っているか。	7	0		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っ ているか。	7	0			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	必要に応じて面談を行っている。また、通所時のフィードバック時に最近の様子について伺い、困りごとが無いかなどを確認している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0	年長向けに保護者会を実施したり、参観の機会を設けている。また、親子で参加できるイベント等も実施している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	相談については迅速に対応している。また、お子様からの相談事を保護者にすぐ伝えるなど、連携をとりながら取り組んでいる。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	毎月、お便りを発行し普段の様子などを共有している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	漏洩防止を徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	0	7		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0		通所していることを知られたくない親御様がいらっしゃる中で、地域交流を無理やり進めることは出来ない。保護者への連携を密に取りながら、実施に向けた取り組みを検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約前に、しっかりと確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	アレルギーについて毎日確認を行い、誤食等が起きない様に努めている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。					